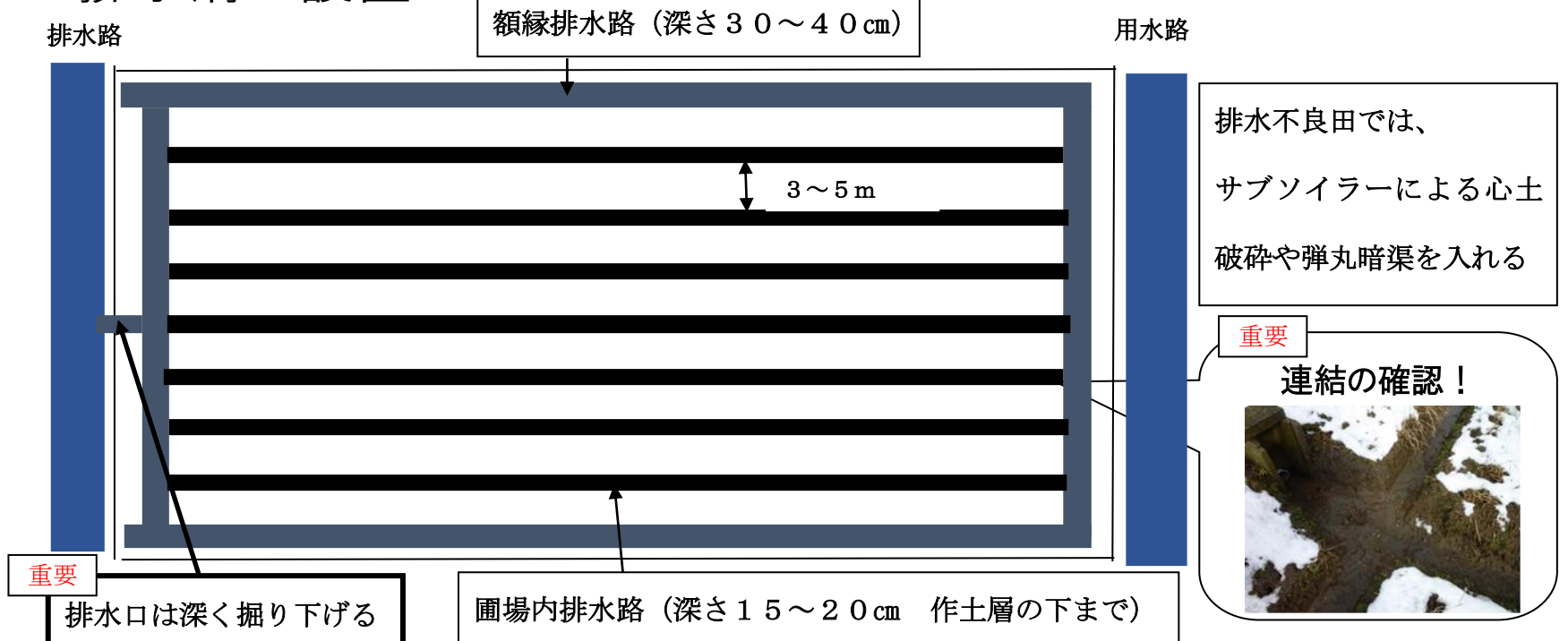


大麦だより(第1号)

令和元年9月20日
J A 能 美
J A 根 上

適期播種で収量品質の向上!

1. 排水溝の設置



2. 種子消毒 (黒穂病の防除)

薬剤名	処理方法
ベンレートTコート	播種前に乾燥種子 1kg に対し 5g を粉衣

3. 土づくり資材の散布 (酸度矯正)

資材名	散布量 (kg/10a)
カキ鉄エース	100

※最適pH6.0~6.5に近づけるため
必ず散布する。

4. 基肥の施用

	肥料名	施用量 (kg/10a)	成分量(kg/10a)		
			窒素	リン酸	加里
基肥一発	大麦一発くん N35	40	14.0	2.0	1.6
分施	韓国化成444	40	5.6	5.6	5.6

5. 播種

- 1) 耕起から播種の一連の作業は、晴天時(同じ日)に実施してください。
- 2) 土壌水分等の播種条件が良好な圃場から、播種しましょう。

①播種適期 10月10日~20日(10月中旬)

②播種量(標準) ※目標苗立ち数: 150~180本/m²

播種方法	播種量(kg/10a)	備考
条播	6~7	条間25~30cm、播種深さ 2cm

基肥一発肥料を使用する場合
播種適期は 10月中旬

※ 播種時期が10月上旬となる場合、細麦粒の発生防止のため、播種量は5~6kg/10aとする。
※ 播種時期が10月下旬以降になった場合、目標苗立ち数の確保のため、播種量を8~9kg/10aとする。

6. 除草対策

①播種後土壌処理(覆土しない場合は使用しない)

薬 剤 名(いずれか)	適用雑草名	使用時期	10a 当たり使用量	本剤の使用回数	備 考
トレファノサイド粒剤 2.5	畑地 一年生雑草	播種後 発芽前	4~5kg	2回以内	播種直後に土が湿った状態で散布すると効果的
キックボクサー細粒剤F	畑地 一年生雑草	播種後 発芽前	3~4kg	1回	

②生育期処理

薬 剤 名 (いずれか)	適用雑草名	使用時期	10a 当たり使用量	本剤の使用回数	備 考
アクチノール乳剤	畑地一年生 広葉雑草	穂ばらみ期まで (雑草生育初期)	200ml/水 100 ℓ (500 倍希釈)	2回 以内	カラスノエンドウ対策
ハーモニー細粒 剤F	畑地一年生 広葉雑草	播種後~麦3葉 期	4~5kg	どちらか 1回	雑草発生前~発生 始期
ハーモニー75DF 水和剤	畑地一年生 広葉雑草	麦1葉期~節間 伸長期	5~10g /水 100 ℓ (10,000~20,000 倍希釈)		スズメノテッポウ5葉 期まで

※畦畔等圃場内周縁部の雑草にはラウンドアップマックスロードが使用できます。

ただし、播種前の圃場内散布も含め3回までです。

＜サブソイラ(弾丸暗渠)による排水対策＞

- ・サブソイラ(弾丸暗渠)を用いることで、湿害の原因となる硬盤を破碎し、水の縦浸透が良くなります。
- ・圃場の排水性が向上し、大麦では、①苗立の向上、②茎数(穂数)の確保、③登熟の向上等の効果により、増収が見込めます。
- ・麦跡に大豆を作付けする場合、大豆の増収にも効果があります。

(サブソイラと弾丸暗渠)



(サブソイラの実施イメージ)

